

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		保健事業費 [骨髓移植ドナー支援事業]											
予算科目	款	4	衛生費	項	1	保健事業費	目	1	保健衛生総務費	事業番号	2		
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)												
担当部署・課長名		健康			課			庶務			係	課長名	志村 明子
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号		2 - 1		
【施策名】 保健・医療の充実									総合計画書 (ページ)		47		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	市民					令和2年3月1日時点							
	→												
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
骨髓・末梢血管細胞の提供者及び提供者を雇用する事業者の確保					骨髓提供者及び提供者を雇用する事業者数								
→													
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)								
助成金の交付					助成金額								
→													
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標					
	対象指標	①の数値	人			85,284							
	成果指標	②の数値	人件			21							
	目 標	②の目標値											
目標値設定の考え方													
骨髓提供者の有無によるため、目標設定は困難													
活動指標	③の数値	円			350,000								
3 経費	事業費(実績)		円			350,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)						
	財源	一般財源	円			175,000							
		特定財源	円			175,000							
		(うち受益者負担)	円										
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人			0.1							
		所要人数(再任用)	人										
		職員人件費(再任用以外)	円			831,000							
		職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円			1,181,000								
4 環境変化等	(1) 開始年度		30 年度										
	(2) 環境の変化												

事業名称	保健事業費 [骨髄移植ドナー支援事業]				
担当部署・課長名	健康	課	庶務	係	課長名 志村 明子

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	特になし				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法：			
		【取組手法の種類】			
		①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
	なし				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）				
	なし				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。				
	市報やHP、健康づくりカレンダーに掲載し周知した。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）				
骨髄提供者の確保を図るため、引き続き周知をしていく。					
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）				
施策名： 保健・医療の充実					
☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☒ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）					
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）				
	☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止				
	【取組内容】				
さらなる事業の周知のため市報、HP等の広報媒体を積極的に実施する。					
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
全戸配布を行っている健康づくりカレンダーに骨髄提供支援事業について掲載しているため、市民に向けた周知は行えているが、事業所への周知は市報・HPのみであるため、事業所に向けた周知方法の検討が課題。					